

つなげモンシリーズ

社内外の分断をなくし、
データの自動化を実現する。

あらゆるシステムと現場をシームレスにつなぐ
ゲートウェイ・プラットフォーム

提案書 (Confidential) / K-SP Co.,Ltd.

■ 現場や経営が抱える課題

- ・ 「ちょっと FAX 見てきて」で作業が中断される

FAX が届くたびに席を立ち、仕分けて担当者に配る。この「名もなき歩行時間」が全社員の集中力を奪っています。

- ・ 文字が潰れて読めず手打ち入力が地獄

手書きの数字が見えなくて電話確認。その後システムにカタカタと手入力。この二重手間と入力ミスが最大のコストです。

- ・ アナログ環境に絶望して若手社員が辞めていく

「タイパが悪い」「昭和の会社だ」と見なされ、せっかく採用した新人がすぐに離職してしまうリスクが高まります。

■ つなげモンが提供する価値

- ・ システムと現場をシームレスに連携
- ・ データの二重入力をなくし、自動化を実現
- ・ リアルタイムな情報共有で意思決定を加速

月間の FAX ・ 電話受注件数

紙の FAX や電話など、現在スタッフが手入力に対応している注文件数を入力してください。

1 件あたりの手入力・確認時間

FAX を見てから、基幹システムへの入力が完了するまでの時間です。探す時間や電話確認の時間も含めてください。

スタッフの平均時給

入力担当者の時給を入力します。（※本来は社会保険料等の会社負担分も乗せるため、高めに設定するのがリアルです）

POINT 1

クラウド FAX で「紙」をなくす

まずは複合機の FAX をクラウド FAX に切り替え、PC で PDF として受信します。これで「歩行時間」と「紙代」がゼロになります。

POINT 2

AI-OCR で「手打ち」をなくす

受信した PDF を AI-OCR に読み込ませて自動でデータ化。あとは基幹システムに連携するだけで、手入力がほぼ不要になります。

新人採用の前に、システム化の検討を！

人を増やして人海戦術で乗り切るよりも、手打ちを自動化する方が圧倒的に高コスパです。取引先は FAX のままで OK！社内だけこっそり DX する事例集を用意しました。